

事務事業名	妊娠出産包括支援事業	担当	健康福祉部 こども家庭課 母子健康係	
政策名	2 「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～	施策名	1	子育て支援の充実
成果指標	名称	単位	3 年度実績	
	妊産婦健康診査受診者延べ人数	人	7186	
	産前・産後サポート事業利用者延べ件数	件	139	
	産後ケア事業利用者延べ件数	件	18	
事業概要	<p>【妊産婦健康診査】安全で安心な出産ができるよう、母子保健法に基づき平成9年度から実施している。平成21年度から14回分の公費負担に拡充され、平成23年4月から14回上限95千円となった。平成25年度から産後1か月健診上限5千円の助成、平成31年度から、産後2週間、1か月健診の産後健診2回(上限10千円)となり、妊娠中の疾病を早期発見・経済的負担の軽減を図るとともに、エジンバラ産後うつ病質問票を実施し、産後うつの予防・早期発見に努めている。</p> <p>【産前・産後サポート事業】令和2年度から妊娠期から産後4か月未満までの妊産婦及び家族に対し、ディサービス型、アウトリーチ型(訪問)のサービスを提供して、心身のケアや育児のサポート等を行い、安心して子育てができるよう支援する。</p> <p>【産後ケア事業】令和元年度から産後4か月未満の母子に対し、心身のケアや育児のサポート等を行い、産後も安心して子育てができるよう、ディサービス型、宿泊型のサービスを提供して安心して子育てができるよう医療機関へ委託し実施する。</p>			
3 年度実績・成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査受診人数：809人(延べ6415人) ・産婦健康診査受診人数：453人(延べ831人) ・エジンバラ産後うつ病質問票実施数：延べ824人(うち陽性者数：69人、陽性率：8.37%) ・産前産後サポート事業利用件数：ディサービス型119件、アウトリーチ型20件 ・産後ケア事業利用件数：5件(延べ18件) <p>妊産婦健康診査は経済的負担の軽減を図るとともに、定期的な受診継続を促進し安心安全な出産につながる。エジンバラ産後うつ病質問票により産後早期のスクリーニングが図れている。また陽性者に対する早期介入や継続的な支援による不安軽減によって安心して子育てに向き合えるよう引き続き取り組んでいく。</p>			
今後の方向性と具体策	<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>【具体的な改善案】 多胎妊婦には、妊婦健康診査受診券(1人5回分)を追加交付して安心安全に妊娠期を過ごせるようにする(予算)8人×5,000円×5回</p>			